

豊田章一郎氏講演録

1、自己紹介

私は今年 84 歳ですが、本日の総会には私より先輩の 90 歳の方が出席されているようで驚きました。現在、産学フォーラムの世話役をおおせつかっております。企業側の代表が私で大学側の代表が前東大総長吉川弘之先生から現東大総長小宮山先生へ、事務局長を名大の松尾先生から平野総長にお願いして活動を進めています。産学フォーラムの目的は、産学連携のミスマッチを解消することにあります。ミスマッチ問題とは、「ポスト・ドクター」問題です。文部省の改革等により、大学の卒業生は、学卒より大学院卒の方が多くなりましたが、これを受け入れる企業側のニーズは、多くないため就職浪人を生み出しています。この問題を何とかしたいという世話役を務めています。

名古屋大学全学同窓会の初代会長をおおせつかりました。旧帝大で全学同窓会を作ったのは名大が最初だそうで、国際的留学生支援活動に使うため、募金活動をお願いいたしました。募金目標額は 200 億円としました。名大の活動を知って、東大が直に全学同窓会を作りました。彼らの募金額は 2000 億円だそうです。(笑い)

東山会の支部は皆様の関東支部のほか浜松を中心にした「遠州会」、「関西支部」海外では上海、北京、バングラデッシュなどにもあります。機械科の卒業生が世代を超えて集まり交流することは大切です。本日の会場の学士会館は七帝大の共有財産です。現在会員が 68,000 人居ます。皆さんも是非会員になっていただいて交流を深めてください。

2、今日の経済情勢

リーマンブラザーズの破綻から、世界同時不況が起きました。ワシントンとロンドンで 20 カ国による金融サミットが行われ、この対策を世界各国が協調して取り組んでいます。金融が産業を後押しする骨格が作られることを期待しています。エネルギーと環境問題を人類の英知を結集して解決しなければなりません。私は「技術革新」こそが解決策であると信じています。我々は限界に挑戦しこれまでの困難を乗り越えてきました。環境を保全しつつ、経済の発展する社会を作り出さなければなりません。これまで環境問題に後ろ向きだった米国がオバマ新大統領になって Green New Deal 政策（\$ 1,500 億/10 年&500 万人の雇用創出に加えてバイオエタノールの活用や自然エネルギーの活用）を打ち出し前向きに方向転換してきたことは喜ばしいことです。

中国は 52 兆元の景気対策を発表しましたがこの中には原子力発電や天然ガスの活用が盛り込まれています。国内経済を活性化するために高速鉄道の敷設が掲げられています。

欧州は太陽電池の普及や低炭素自動車やハイブリット車に支援を表明しています。このようにエネルギーと環境問題を中心にして大変化が起きる時代を迎えています。

3、日本の進む方向

こうした世界の潮流に対して我国の議論は内向きで議論の中身が見えにくくなっています。2008 年度の我国の貿易収支は赤字に転落いたしました。世界第二位の経済大国は世界の発展に貢献しつつ、国内の発展を目指さなくてはなりません。その進むべき方向は「科学・技術創造立国」です。我国は省エネ、ロボット、バイオの分野では世界的に見ても高いレベルにあり、自信を持って良いと思います。エネルギー資源に恵まれない我国では、グローバル成長戦略づくりが肝要である。石油を効率よく産出する技術、安全対策を万全にした原子力発電に加えて、バイオマスや太陽光発電の改革・革新が必要である。2050 年「地上の太陽を作れ」を目標に八カ国の共同研究開発プロ

ジェクトE A T Aの核融合発電開発では日本は各方式で世界のトップ水準にある。核融合は海中の重水素や三重水素を活用して発電するもので、トカマク方式、トキノヘリカル型、レーザ型、ミラー型などがある。

今年のノーベル賞は名大から3人の受賞者が出た。益川、小林と下村の先生方だ。三人とも全学同窓会員である。受賞のお祝いと記念講演会を名大で行い私も参加させていただいた。ノーベル賞の受賞はご本人たちの努力の賜物だが、後進の良い励みになっている。これからエネルギー、ナノテク、宇宙、海洋と医学の分野で競争が激化するだろう。無限の資源である人類の知識を活用し、産学の共同により成果を挙げなくてはならない。希少金属の代替物質の発見や新エネルギー技術の確立などが我国に期待されている。

4、恩師の思い出

科学・技術創造立国を実現するには高い志が必要である。高い志を待たれた私の恩師小林明先生のお話をしたい。小林先生は昭和36年名大を退官され、トヨタ研究所の初代所長に就任して頂いた。当時のトヨタは昭和34年にクラウン専用の元町工場を稼働させた直後で、昭和36年は伊勢湾台風が来て大きな被害が出た年だ。先生が研究所方針として掲げた言葉は「美意延年」であった。言葉の意味は、良いことをすれば長命になり、美しいことは長命に繋がる。というものだがここから先生は「美人が力をいれずに運転できるような車を創れ！」「ドアの開閉もボタンで実現せよ！」今日ではほぼ実現されていますが当時としては、かけ離れたことでした。「有料道路は電動ドライブで運転者が一休みできるようにせよ！それが有料の価値だ。」ITSは自動運転と渋滞解消の手段であります。小泉総理は交通事故死者を半減しなさいと方針を出され一万人の死亡者が五千人に半減した。交通事故死のワースト・ワンは大阪と愛知が争っているが、小林先生は自動車の事故死はゼロにしなさい。とおっしゃった夢多い人でした。八十歳を過ぎてもCVTエンジンの改良をなさっておりました。難局の時代こそこれに対して克服する気概を持つことが大切です。明治の人は気概がありました。

中国は不況ではありません。政府の内需拡大策として1600CC以下の車を優遇したら今年の一月の販売台数が960万台、二月が1,100万台、三月が1,010万台と販売が伸びています。米国は全体の車の保有台数が25億台です。10年で買い換えるとして年間2.5億台月換算で二千万台強の市場です。国内はホンダのインサイトが良く売られています。トヨタも今月プリウスの改良モデルを発売予定です。ハイブリットカーに対する消費者の期待の大きさを表しています。自動車産業はハイブリットカー、電池自動車と代替エネルギー車の開発が成長の鍵を握っています。今大切なことは新たな変化の芽をつかみ車の対応を確りやることです。空を飛んでいたジェット機が道路に下りたら走る空陸兼用車の開発や自然と人の社会の調和する車の役割の先取りと若者の車離れ対策などが必要です。

5、結び

東山会の会報誌の第一号に名大の初代総長渋沢モトジ先生が「恵風和暢」の書を紹介しています。渋沢先生は明治の経営者として有名な渋沢栄一の甥に当たる方で日立製作所の創始者小平浪平の友人です。ケイフウワチョウと読み「春風に吹かれてますます伸びゆく様」の意味だそうです。書聖といわれた王羲士の書だそうですがよく勉強をされていましたね。皆さんも何時までも「恵風和暢」の精神を忘れないでお過ごしください。